

長岡京市 下海印寺まちづくり構想

緑と水辺を活かしたまちづくり



人づくり

コミュニティ

継続

共有

下海印寺まちづくり協議会

あいさつ

今回その成果を「まちづくり構想」として、ここにまとめることができました。まちづくりは今まさに始まったばかりです。「まちづくり構想」を実現するためにも、地域の皆様のご理解とご協力は不可欠であり、協議会としましては、今後も積極的にまちづくりに取り組んでまいりますのでご協力の程よろしくお願い致します。最後になりましたが、まちづくり協議会活動に暖かいご支援を賜りました関係各位に心から感謝とお礼を申し上げます。

平成14年8月
会長 中小路 定則

下海印寺は長岡京市、西部地域南東部に位置しており、中心部を小泉川が流れています。
自然豊かな田園風景、里山風景など地域のみんなの癒しの風景となっています。
また近年に至っても歴史・文化を継承し、地域のコミュニティをみんなで盛り上げています。

長岡京市	面積	約1918ha	人口	77,658人	世帯数	30,265世帯
下海印寺		約57ha		1,612人		552世帯

長岡市観光情報

- 宮座の継承
- たけのこ
- ホテル
- 田苗池

企業跡地

コミュニティ

歴史

自然

まちづくりキーワード

誰もが安心して暮らせるまち

災害及び防災対策などを講じ、お年寄り、子供を問わず誰でも安心していつまでも住みつけられる下海印寺のまちづくりを目指します。

ふる里を感じるうるおいのまち

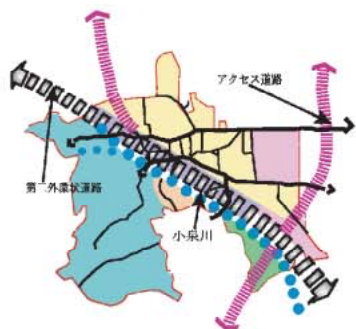
地域のみんなや訪れた人たちが、ふる里の面影を留められるようなまちづくり。また新たな開発の適正な誘導などにより秩序とうるおいのあるまちづくりを目指します。

緑が多く自然の豊かなまち

西山などにみられる緑の豊かさ、地区内を流れている小泉川など、自然いっぱいにもまれた下海印寺です。その豊かな自然を保全したり活用したり、地域みんなが共有できるまちづくりを目指します。

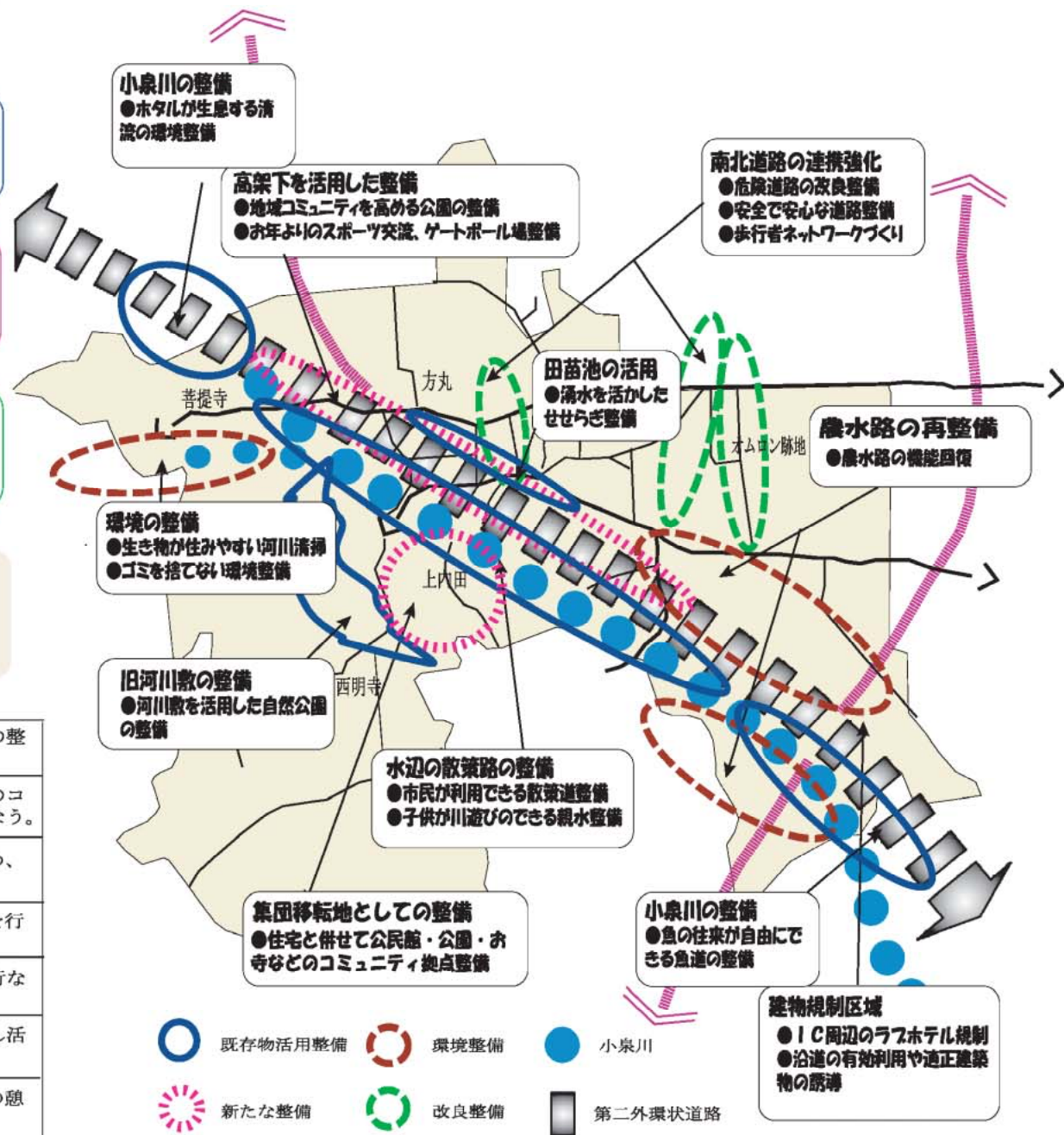
土地利用ゾーニング

みんなで創る下海印寺まちづくりの土地利用構想です。この構想をみんなで共有し、下海印寺のまちづくり実現のために、みんなの力で誘導しましょう。



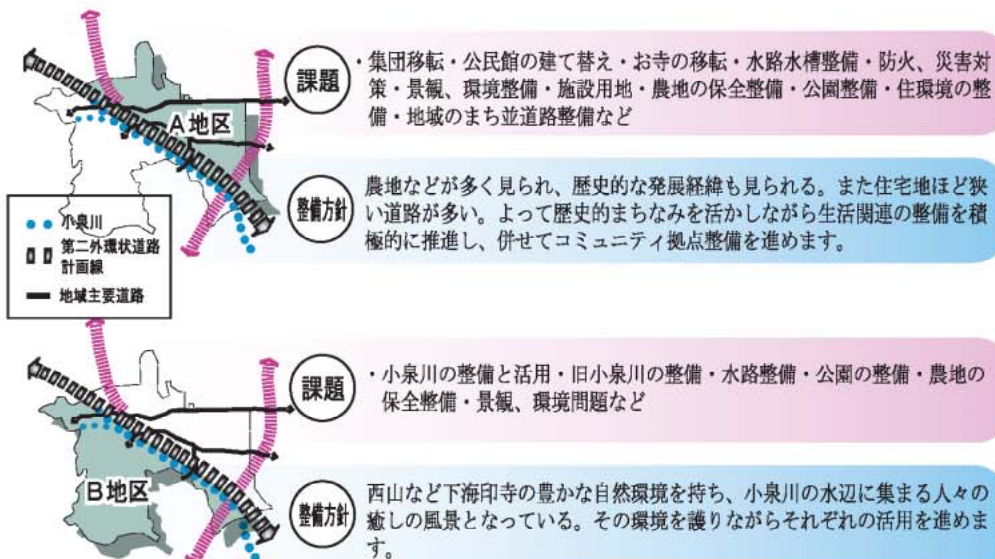
まち並整備ゾーン	安心安全なまちを形成するための整備を行なう。
高架利用ゾーン	外環状の高架下を活用し、地域のコミュニティの場となる整備を行なう。
有効利用検討ゾーン	沿道を活かした有効活用をはじめ、適切な建物誘導を行なう。
住居移転ゾーン	集団移転地として住宅地の整備を行なう。
田園活用ゾーン	田園風景を活用し、保存整備を行なう。
里山保全ゾーン	地域の人々の癒しの風景を保存し活用できる整備を行なう。
水辺を活かしたゾーン	小泉川の水辺を活用した、市民の憩いの場としての整備を行なう。

緑と水辺を活かしたまちづくり



まちづくりの検討

下海印寺は中心部を小泉川が縦断しており、まちづくりを考える上で極めて重要なポイントとなります。また第二外環状道路整備が進んでおり、地域の分断が心配されます。そこで小泉川南西の自然の魅力溢れる地域、北東の寺町背景を持つ旧集落地域を結ぶ小泉川を中心に一つの地域としてまちづくりの検討を進めました。



部会の設置

暮らしの施設部会

地域に密着したまちづくりと地域の暮らしに必要な施設の整備に関することを担当します。

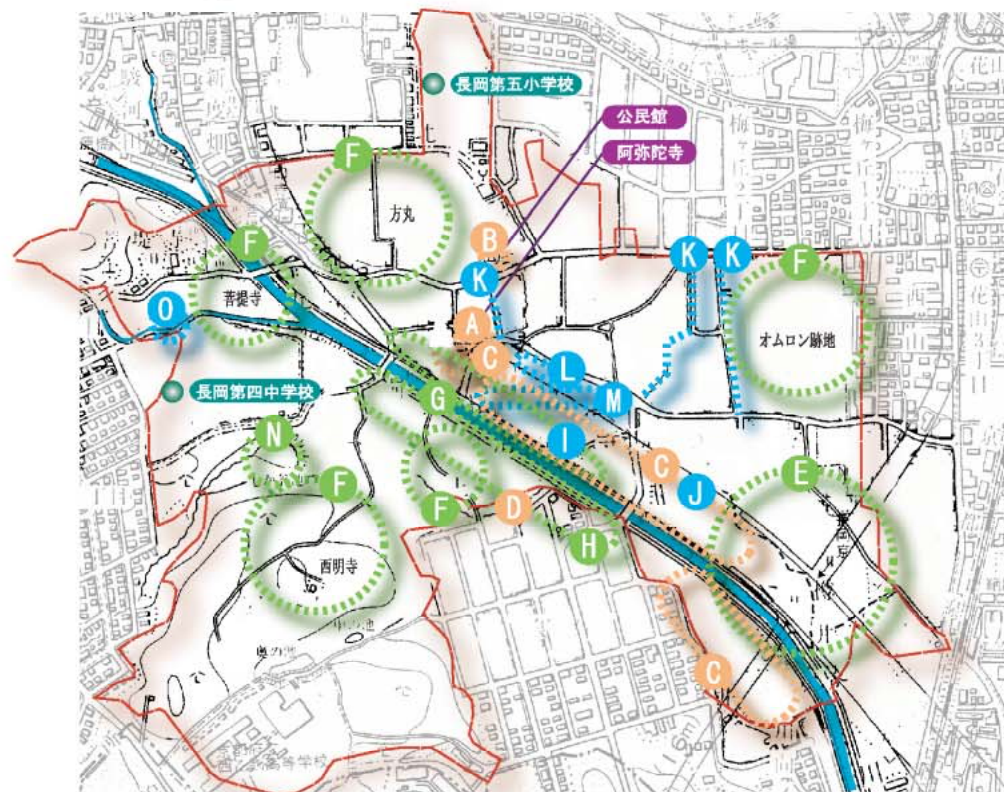
環境みちづくり部会

自然環境、生活環境など地域の環境に関する施設づくりや、第二外環状道路に関するまちづくりを担当します。

緑とふるさと部会

下海印寺の歴史や伝統行事など次世代に引き継いでいくための、新しいふるさとづくり、緑豊かな環境を守り育てていくために農地や公園、安全で安心な、人にやさしいゆとりあるまちづくりを担当します。

まちづくり計画のあらまし



下海印寺まちづくり協議会部会活動表

各部会	活動項目	内	容
暮らしの施設部会	お寺の移転問題	A	お寺の移転問題
	公民館建て替え	B	公民館の建て替え問題
	水路水槽	C	溜池、水路水槽の整備
	防火、防災災害対策	D	防火や防災、災害対策に関すること
環境みちづくり部会	景観・環境問題	E N	第二外環状道路に関連する景観、環境問題
	住宅移転用地	F	第二外環状道路に関連する住宅移転の問題
	施設用地	G	第二外環状道路に関連する施設の用地問題
	旧小泉川の整備 小泉川の整備と活用	H	小泉川の整備と活用に関すること
緑とふるさと部会	公園の計画	I	公園の計画、整備に関すること
	農地の保全整備	J	農地の保全、整備に関すること
	地域のまち並道路整備	K L	地域のまち並や道路整備に関すること
	住環境の整備	O M	住環境の整備に関すること 地域の歴史、伝統行事などの保全と活用に関すること

まちづくり実現のための計画づくり

暮らしの施設部会

A 移転についての見積り依頼、場所探しを行ないました。

B 集団移転先の用地検討を行ないました。

C 田圃池活用の検討、農水路機能回復などの検討を行ないました。

D 阪神淡路大震災を教訓とし、防災対策面をまちづくりに反映するための検討を行ないました。

部会毎の会合、内容把握、調整などに時間を要し、総論賛成、各論反対と言うような構図の中で、みんなのまちづくり構想に繋げることができ、良い経験として今後のまちづくりに生かしたいと考えています。



住宅移転地道路計画図



寺移転見積り検討図



農水路現状復帰図

環境まちづくり部会

E N セツ谷池の清掃、第二外環状道路 I C 周辺の規制などについて検討を行ないました。

F 集団移転地について検討を重ね場所選定を行ないました。

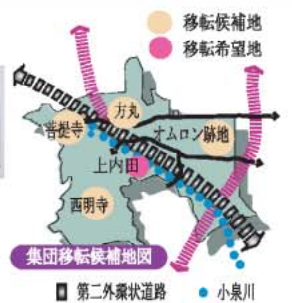
G 第二外環状道路に関連した集団移転地、公民館、お寺、公園などの施設候補地の検討を行ないました。

H 小泉川の活用整備について構想をまとめました。

まちづくりは長い年月を掛け取り組むものであるが、第二外環状道路計画を一つのきっかけとして地域を見直すことができました。さまざまな問題を基に、みんなが望む将来像に少しでも近づくためのまちづくりに取り組んでいます。



第二外環状道路と小泉川



集団移転候補地図

緑とふるさと部会

I 地域内に幼児やお年寄りが集える公園について検討を行ないました。

J 自然風景豊かな農地など残すべきもの、整備するものについて検討を行ないました。

K L 花づくりを中心として活動し、地域内で目立つ危険な通学路、生活道路などについて調査検討し提言を行ないました。

O 菩提寺川の清掃提案など住環境の整備活動を行ないました。

M 古くから地域に残る宮座の復活など地域のコミュニティの発展に努めました。

まちづくりの一環として地域の花づくり運動を中心とし活動してきました。当番制により家族ぐるみの活動となり、まちづくり活動に興味を持ってもらうことができました。一歩ずつまちづくりの輪が実りつつあります。



菩提寺川清掃前



菩提寺川清掃後



南北道路提案図



通学路危険箇所



花づくり

協議会のあしあと

協議会の発足当時から、地域内を縦断する第二外環状道路計画があり協議会はもとより地域住民のみなさんにも大きな関心事となりました。中・長期的なまちづくりと第二外環状道路に関連したまちづくりを意識しながら、一つのまちづくりとして進めてまいりました。

平成10年度

- 8/8 第1回協議会発足説明会
- 10/28 第2回協議会発足説明会
- 1/15 自治会役員会・準備委員会発足
- 3/22 自治会総会
まちづくり協議会発足承認

平成11年度

- 4/7 まちづくり委員募集
- 4/17 第3回協議会説明会
- 8/26 活動計画策定
- 9/25 まちづくり協議会発足
- 10/8 まちづくり協議会設立認定
- 11/28 中西直道 I C 視察
- 11/ 第1回集団移転アンケート実施

- 1/19 お寺の移転問題
- 2/10 お寺移転候補地見積り依頼
- 3/20 第1号まちづくりニュース発行

平成12年度

- 4/22 平成12年度協議会総会
- 8/30 KBS京都テレビにより、下清早寺まちづくり内容の放映
- 7/15 第2回集団移転アンケート
- 9/17 第2号まちづくりニュース発行
- 10/6 公民館にて費え費用試算
- 10/24 4項目要望書市長への提出
- 11/25 集団移転勉強会
- 11/26 セツ谷池の清掃

- 2/3 西明寺現地視察

平成13年度

- 4/1 第3号まちづくりニュース発行
- 4/4 まちづくり勉強会
- 4/13 協議会、市町との懇談
- 5/11 第1回ワークショップ
- 6/11 第3回集団移転アンケート
- 7/5 久御山町お寺移転、集団移転ヒヤリング
- 7/27 第2回ワークショップ
- 8/26 まちづくりワークショップ発表会
協議会総会
- 11/4 花の鑑賞
- 11/29 国土交通省との意見交換
- 12/23 集団移転先選定協議
- 2/20 集団移転選定協議
- 3/16 花づくり管理計画策定
- 3/26 協議会活動3年間のまとめ

暮らしの施設部会

部会毎の活動、運営委員会などが特に集中したことを示しています。

環境まちづくり部会

緑とふるさと部会

● 上記に示した内容は結果を示したものであり、定期的な役員総会をはじめ、各部会毎の活動計画準備に要した会合などは含んでいません。



まちづくり・人づくり

下海印寺まちづくり協議会の共有できる「まちづくり構想」がまとまりました。今後、第二外環状道路に関連したまちづくりはもとより、継続的にまちづくりを進めるうえで構想から整備に向けての課題整理を行い一日も早いまちづくりの実現をみんなで目指します。

意識を高める

活動の意識向上を基に、今後みんなの意識の高まりが必要です。

活動を広める

まちづくり構想実現のため、みんなが参加・活動しやすい協議会を目指します。

後継者を育てる

今後も継続的にまちづくりを進めるため、後継者を育てることが重要です。

専門家との勉強会

移転にともなって起こる税金、土地取得などの問題について知識の向上を図ります。

希望移転地内の計画

希望移転地内の施設、面積割、区画割、道路構成及び移転世帯数など関連する細かな計画が必要です。

関連機関との協議調整

まちづくりの実現に向けては、関連機関との積極的な協議・調整が必要です。

